

好評発売中！

最新公用文 用字用語ハンドブック

■間違いやすい用字用語の解説■

瀬口 至 著（元・市町村アカデミー客員教授）

文書作成に待望の必携書誕生！！

特に間違いやすく使用頻度の高い用字用語を精選、用法を詳しく解説し豊富な用例を示しました。

公務員や行政書士など、広く公文書に関わる方々が自信を持って事務の遂行ができるよう、用字用語のツボを分かりやすくかつ具体的に解説するとともに、必要に応じて関連事項などにも詳しく触れました。

巻末資料編として、「公用文における漢字使用等について」「法令における漢字使用等について」の訓令や現行常用漢字表本表（抄～漢字掲載）及び付表を掲載しました。

各種文案作成時の疑問を解決するための常備図書として、是非、お手元に 1 冊お備えください。

- ①日常の公務における公文書作成の手引書として
- ②公務員としての常識を養うための文書読本として
- ③研修の必携書として ～幅広く御活用いただけます。

（表紙カバー）

（本書の構成）

●質問形式の表題について

本書は、解説すべき用字用語を五十音順に掲げ、各音単位で番号を付けて質問形式で表題を掲げました。

その質問形式の表題は、次の 2 種類です。

- ①「〇〇、〇〇は、どちらで書くのか？」

これは、表記の仕方についての問いです。

常用漢字表に従って、漢字で書くのか平仮名で書くのか、また、どちらの漢字を用いるべきかの問いです。

- ②「〇〇、〇〇は、どう使い分けるのか？」

これは、同音異義語等を並べて、その意味の違いを理解した上で、どう使い分けるのかについての問いです。

●各項目に掲げた用例について

各項目に、できるだけ多数の用例を掲げ、理解を深めていただくようにしました。

●必要な項目に掲げた [コメント] について

更に理解を深めていただくよう、必要な項目に [コメント] を掲げて関連事項を詳細に解説しました。

最新公用文 用字用語ハンドブック

■間違いやすい用字用語の解説■

瀬口 至 著

元・市町村アカデミー客員教授

夢の友出版

B6 判・並製カバー装・本文 300 頁

定価 （本体 1,800 円＋税）

ISBN978-4-906767-03-8 C0581 ¥1800E

項目一覧（一部のみ）

用字用語の解説

【あ】——

- [1] 「あいさつ」、「挨拶」は、どちらで書くのか？
- [2] 「合う」、「会う」、「遭う」は、どう使い分けるのか？
- [3] 「空く」、「明く」、「開く」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「上げる」、「挙げる」、「揚げる」は、どう使い分けるのか？
- [5] 「足」、「脚」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「預かる」、「あずかる」は、どちらで書くのか？
- [7] 「価」、「値」は、どう使い分けるのか？
- [8] 「暖かい」、「温かい」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「当たる」、「あたる」は、どちらで書くのか？
- [10] 「後」、「跡」、「痕」は、どう使い分けるのか？
- [11] 「油」、「脂」は、どう使い分けるのか？
- [12] 「荒い」、「粗い」は、どう使い分けるのか？
- [13] 「表す」、「現す」は、どう使い分けるのか？
- [14] 「在る」、「有る」、「ある」は、どう使い分けるのか？
- [15] 「合わせる」、「併せる」は、どう使い分けるのか？

【い】——

- [1] 「言う」、「いう」は、どちらで書くのか？
- [2] 「生かす」、「いかす」は、どちらで書くのか？
- [3] 「意思」、「意志」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「委譲」、「移譲」は、どう使い分けるのか？
- [5] 「異常」、「異状」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「致す」、「いたす」は、どちらで書くのか？
- [7] 「頂く」、「いただく」は、どちらで書くのか？
- [8] 「異動」、「移動」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「居る」、「いる」は、どちらで書くのか？

【う】——

- [1] 「……の上」、「……のうえ」は、どちらで書くのか？
- [2] 「窺う」、「うかがう」は、どちらで書くのか？
- [3] 「受ける」、「請ける」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「後ろ」、「後」は、どちらで書くのか？
- [5] 「歌」、「唄」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「内」、「うち」は、どちらで書くのか？
- [7] 「打つ」、「討つ」、「撃つ」は、どう使い分けるのか？
- [8] 「写す」、「映す」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「生む」、「産む」は、どう使い分けるのか？
- [10] 「憂える」、「愁える」は、どう使い分けるのか？

【え】——

- [1] 「英気」、「鋭気」は、どう使い分けるのか？
- [2] 「映像」、「影像」は、どう使い分けるのか？

【お】——

- [1] 「応じる」、「応ずる」は、どちらで書くのか？
- [2] 「概ね」、「おおむね」は、どちらで書くのか？
- [3] 「犯す」、「侵す」、「冒す」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「臆説」、「憶説」は、どちらで書くのか？また、「臆測」、「憶測」は、どうか？
- [5] 「送る」、「贈る」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「後れる」、「遅れる」は、どう使い分けるのか？

- [7] 「起こす」、「興す」は、どう使い分けるのか？
- [8] 「押さえる」、「抑える」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「収まる」、「納まる」は、どう使い分けるのか？
- [10] 「押し進める」、「推し進める」は、どう使い分けるのか？
- [11] 「恐れ」、「虞」、「畏れ」、「おそれ」は、どう使い分けるのか？
- [12] 「追って」、「おって」は、どちらで書くのか？
- [13] 「踊る」、「躍る」は、どう使い分けるのか？
- [14] 「下りる」、「降りる」は、どう使い分けるのか？
- [15] 「御礼」、「お礼」は、どちらで書くのか？

【か】——

- [1] 「箇」、「か」は、どちらで書くのか？
- [2] 「改定」、「改訂」は、どう使い分けるのか？
- [3] 「代える」、「変える」、「替える」、「換える」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「香り」、「薫り」は、どう使い分けるのか？
- [5] 「係る」、「掛かる」、「架かる」、「懸かる」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「陰」、「影」は、どう使い分けるのか？
- [7] 「過小」、「過少」は、どう使い分けるのか？
- [8] 「科する」、「課する」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「形」、「型」は、どう使い分けるのか？
- [10] 「固い」、「堅い」、「硬い」は、どう使い分けるのか？
- [11] 「片寄る」、「偏る」は、どう使い分けるのか？
- [12] 「……から」、「……より」は、どう使い分けるのか？
- [13] 「皮」、「革」は、どう使い分けるのか？
- [14] 「乾く」、「渴く」は、どう使い分けるのか？
- [15] 「〇〇観」、「〇〇感」は、どう使い分けるのか？
- [16] 「肝腎」、「肝心」は、どう使い分けるのか？

【き】——

- [1] 「器」、「機」は、どう使い分けるのか？
- [2] 「気運」、「機運」は、どう使い分けるのか？
- [3] 「聞く」、「聴く」は、どう使い分けるのか？
- [4] 「効く」、「利く」は、どう使い分けるのか？
- [5] 「基準」、「規準」は、どう使い分けるのか？
- [6] 「規制」、「規正」、「規整」は、どう使い分けるのか？
- [7] 「規定」、「規程」は、どう使い分けるのか？
- [8] 「起点」、「基点」は、どう使い分けるのか？
- [9] 「寄付」、「寄附」は、どちらで書くのか？
- [10] 「究明」、「糾明」は、どう使い分けるのか？
- [11] 「強行」、「強硬」は、どう使い分けるのか？
- [12] 「共同」、「協同」は、どう使い分けるのか？
- [13] 「局限」、「極限」は、どう使い分けるのか？
- [14] 「切る」、「斬る」は、どう使い分けるのか？
- [15] 「極める」、「窮める」、「究める」は、どう使い分けるのか？
- [16] 「禁固」、「禁錮」は、どちらで書くのか？

(以下、略)

資料編

- ・ 公文における漢字使用等について
(平成22年11月30日内閣訓令第1号)
- ・ 法令における漢字使用等について
(平成22年11月30日内閣法制局長官制定)
- ・ 常用漢字表
(平成22年11月30日内閣告示第2号)
本表（抄一漢字掲載）
付表

(出版元)

株式会社 夢の友出版

東京都新宿区白銀町 6-1-812 (〒162-0816)

電話及びFAX 03-3266-1075

URL: yume-tomo-editorial.com/